

活動内容が分かる写真



2012/3/15 ダラサラマ・グループ 作付計画の研修も、砂の地面に描けば材料はいらない



2012/03/03 チャンデ=ソコマ村 自力で完成させた灌漑施設、丸太を切り抜いて水の通り道を作成



2011/12/01 チャンデ=ソコマ村 雨季を前にしてアップランド圃場区画整備について老若男女が研修



2011/12/14 ジェレミア=モヨ村 伝達農家が指導しアップランド圃場区画整備の研修(講師:左端)



2012/12/21 チカガワ方面の伝達農家委員会メンバーが自力でムバケ方面にフィールド視察に訪れた



2012/04/21 ガゾルウェ=ゾーン委員会会合 活発な動きを見せる委員会はメンバー間の風通りも良い



2012/03/07 自分のトマトを買い付けに来た仲買人から逆に依頼を受けてルベン=ピリ=グループの伝達農家キングスレイ=ピリが街中の畑で研修を実施



2012/04/04 マーケット研修事後ディスカッション 実際に市場で見聞きしてきたことを基にグループ毎に作付カレンダーを作成してみる研修参加者



2012/03/06 ガジョウオラ=グループ プロジェクトの話聞きつけた他地域からの訪問者に身体を使った株間採寸方法を伝授するレナード=バンダ



2012/03/06 ガジョウオラ=グループ ノートを開き自身の作付カレンダーについて説明するエキスパート=バンダと熱心にメモをとる訪問者



2012/01/26 ティビオネホ=グループ プロジェクト視察に訪れた大使館職員を前にデモンストレーションを行いながらニンニクの植付法を説明するメンバー達



2012/02/13 第5回ワーキング=グループ 県農業事業所と農業普及所のスタッフを前にプロジェクト進捗状況を説明する丹羽代表



2012/01/06 JOCA 事務所 近くまで来た折に伝達農家としての活動やグループの現況などを報告しに寄ってくれる農家達が増えてきた



2011/12/08 リンビカニ・グループ ラジオ・プログラム用音声の収録風景。声に出すことで自分のグループの状況を再認識するきっかけにもなる



2012/04/13 カタウオンダ・グループ 灌漑施設を使った乾季ニンニク栽培に向けて下準備が進むエリクス=テヤの畑



2012/04/27 カジヨウオラ・グループ 列ごとに作付時期をずらし教えられた技術を忠実に再現しながらニンニク栽培に力を入れるレナド=バンダ



2012/02/03 カノ・グループ 乾季の作付に向けて種となる大玉のニンニクを選定していくメンバーは地味ながらも女性のみで着実に活動を続けている



2011/12/08 ジャント・グループ 研修を通じてメンバーそれぞれが作成した作付カレンダー。作成後にフォローしていけるかどうかの方が更なるカギとなる



2012/03/28 カチエ・グループ 個人的に記録を付けている農家として非常に丁寧な出納帳を説明するモデスタ・ソさんは養鶏(卵)からの収入も多い



2012/02/06 ザケヨ・グループ メンバー若干1名ながらも活動を続けるザケヨ氏は今年も JOCA から得た技術の中でも得意とするキャベツ栽培を始めた



2011/11/16 リンビカニ・グループ 新規作物導入を積極的に試みる女性メンバー達がキュウリ栽培に挑戦するも病害虫にやられ初回の実りは無かった



2012/03/27 リンビカニ・グループ 2年前研修に訪れた農家から買った1株のイチゴ苗を地道に増やし続けようやく作付面積を拡大するに至った



2012/01/16 マオレ・グループ 既に80歳近いと推定されるグループ最年長のダイバーシ=モヨお婆ちゃんも学んだ技術を実践し現役で農業を楽しんでいる



2012/04/13 ガダウオンダ・グループ 『皆で挑戦して沢山の技術を学び自分の畑で実践する、ここは私達にとって教室』というガダウオンダのグループ圃場